

令和4年度 SIP第2期 最終課題評価 採点結果とりまとめ

令和5年3月2日

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局



SIP第2期 最終課題評価 採点結果、ランク付け

評価の考え方

- ・評価は、**SIP第2期における評価軸の継続性を考慮**して、過年度と同様の評価方法とした。
- ・満点315点に対する得点率を**7段階のランクの閾値**として評価。
- ・令和4年度SIP第2期最終課題評価WGにおける**12課題の平均点をA評価の中心**として、±10%毎にランクを設定。

※相対評価で評価の範囲が変動するため、全体平均点が高くなったことでSランク評価の範囲が消失し、最終年度は6段階評価となった。

得点率に基づくランク付け

平均点：237.4点 得点率：約75%

得点率	点数
95%以上	299.5点以上
85%～95%	267.8～299.5点
65%～85% (平均点：75%)	204.8～267.8点
55%～65%	173.3～204.8点
45%～55%	141.8～173.3点
45%以下	141.8点以下



評価
AA
A+
A
A-
B+
B

課題名	合計得点 (評価者平均)	評価
ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術	265.0	A
フィジカル空間デジタルデータ処理基盤	245.7	A
IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ	231.8	A
自動運転（システムとサービスの拡張）	248.6	A
統合型材料開発システムによるマテリアル革命	230.4	A
光・量子を活用したSociety5.0実現化技術	264.0	A
スマートバイオ産業・農業基盤技術	222.2	A
IoE社会のエネルギーシステム	206.0	A
国家レジリエンス（防災・減災）の強化	253.7	A
AIホスピタルによる高度診断・治療システム	244.5	A
スマート物流サービス	225.1	A
革新的深海資源調査技術	212.2	A

SIP第2期 課題評価 平均点の推移、考察

ステージゲートを実施した3年目に一時的に評価が下降。制度評価を踏まえた制度改正により、全体平均点が**向上**。

➡「社会実装責任者の設置」、「社会実装体制の明確化」を促したことで、**研究成果の社会実装に向けての取組が加速**。

SIP第2期課題評価 平均点の推移

